

湖風会「工学部学友会」
第二回総会に寄せて

滋賀県立大学 工学部長
材料科学科 教授 廣川 能嗣



このたび「工学部学友会」の第二回総会を開催されますことに、心よりお慶び申し上げます。

平成23年秋に、歴史と伝統を持った元彦根工業専門学校・元滋賀県立短期大学工業部の卒業生と、新しくできた滋賀県立大学工学部・大学院工学研究科の卒業生・教職員・在学生とが、一体となって活動する同窓会組織として、滋賀県立大学同窓会「湖風会」の学部同窓会「工学部学友会」が誕生しました。それから3年近くの時が流れ、その間に同窓会の体制づくりが着々と進められるとともに、元県立短期大学機械紡織科時代から続けてこられた会社訪問活動を継続発展させて実施されるなど不断の活動のご様子をお伺いし、「工学部学友会」として着実に育ってきていることは、ご同慶の至りでございます。さらに、今回の第二回総会が「工学部学友会」として初めて、滋賀県立大学構内で開催されるとのことで、「工学部学友会」が名実共に一体となったと実感しております。それには、今回の総会が開催される同窓会館の「湖風会館」が、「湖風会」のご尽力により2013年3月大学構内に完成したことが大きな役割を果たしています。また、「工学部学友会」がその施設において開催されますことは、それを象徴していることだと思います。

滋賀県立大学は、1995年の開学以来、今年で20年目を迎え、人間で言えば、ようやく成人の仲間入りができたところです。開学当初の工学部は、材料科学科と機械システム工学科の二学科でありましたが、2008年に、大学開学当初からの念願であった電子システム工学科が新設されて、現在の三学科体制となりました。2012年3月には、初めて三学科そろって卒業生を世に送り出すことができました。また、今年の3月には、大学院の博士前期課程の修了生も三専攻そろって送り出すことができました。大学開学以来、工学部・工学研究科の卒業生・修了生は、すでに1700名以上となり、実社会で大いに活躍しているものと自負しております。

工学部では、日本技術者教育認定制度（JABEE）の認定を受けました。このことは、工学部で実施している技術教育が、社会の要求水準を満たしていることを保障したものであります。今後は、これまでに培った手法をもとに、工学教育の質をさらに上げるべく努力してゆきたいと考えております。

滋賀県立大学工学部・大学院工学研究科から毎年輩出される卒業生・修了生を暖かく迎え入れて頂き、「工学部学友会」が益々発展されることを祈念して、お祝いの言葉とさせて戴きます。

おめでとうございます。

2014年6月1日